

京都府流域下水道事業経営審議会第3回調査部会（開催結果）

- 1 日時 令和4年12月23日（金） 午前10時～午前11時45分
- 2 場所 ホテルルビノ京都堀川 アムールの間
- 3 出席者 委員 田中部会長、藤木委員、吉澤委員（3名中3名出席）
宇治市（参考人） 山田上下水道部長、塚本下水道計画課長 他
京都府 市田建設交通部技監、岸田流域下水道事務所長
長谷川水環境対策課長、藤原水環境対策課参事 他

4 結果概要

- 流量計計測値を時間ごとに分析した結果では、年度間で差が極めて小さい時間帯と大きい時間帯があり、流量計誤差が原因では宇治市水量増加の説明がつかないため、有収水量として把握していない下水流入の可能性が考えられるとの意見があった。
- 宇治市から、大規模事業所への立入等の追加調査をしっかりと行いたいと申し出があったため、次回部会にて議論することとなった。
- 宇治市からは、久御山町の水量減少理由についても部会で取り上げて欲しいと要望があり、京都府が町の不明水対策の状況等を聞き取り調査し、次回部会にて報告することとなった。

5 主な委員意見

- ・ 雨の降り方による影響を分析してもらったところ、雨水の浸入は令和元年度以降で特に大きくなったとは確認できず、雨天に限らず普通の日での水量増減の影響が大きいと分かった。
- ・ 宇治3流量計は、雨天時管内貯留の影響を受ける位置に設置されているため、流量計の正確な計測可能範囲を確認した。その結果、不正確な計測値は除外されており、問題がないことを確認した。
- ・ 宇治3流量計において、1時間ごとの年間平均流量を確認したところ、時間帯により年度間で差が見られ、差が極めて小さい時間帯と大きい時間帯があるため、宇治市の水量増加を府の流量計誤差が原因とするのは説明がつかない。
- ・ 宇治3流量計より上流の流量計では、時間帯による年度間の差がないことから、宇治3流量計とその上流にある流量計の間で有収水量として把握していない下水流入の可能性はある。
- ・ 上水道の配水量を1時間ごとに分析し、時間帯による年度間の差があるか確認してはどうか。
- ・ 宇治市域に加え、久御山町域でも大規模事業所等への立入調査等が必要。久御山町の協力が必要だが、調整し実施してはどうか。
- ・ 久御山町の水量減少理由の解明については、例えば町が取り組まれている不明水対策の状況などは事務局で聞き取り調査等できないか。